

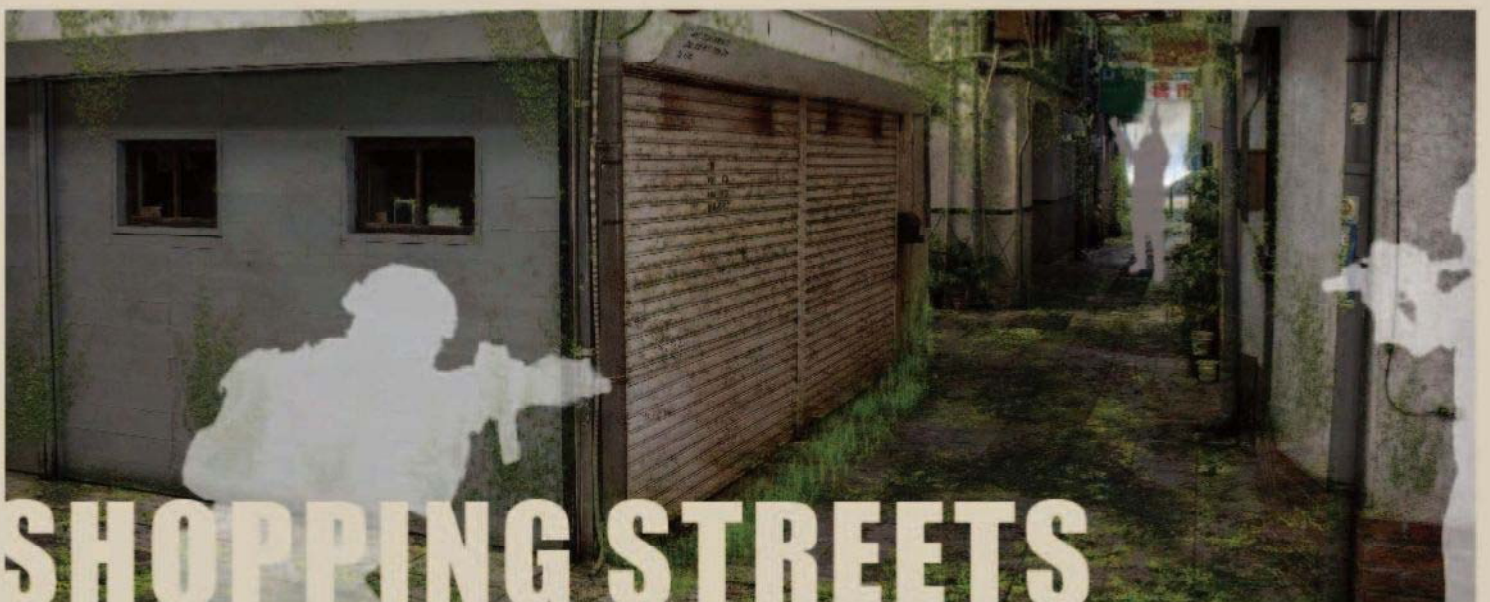
# NEW WAYS

A photo by



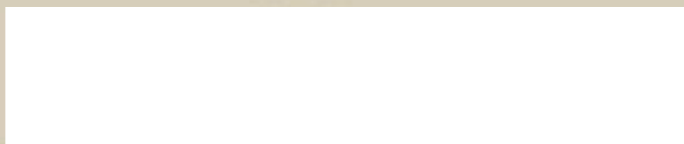
Start with a survival experience  
In shopping streets  
In a post-apocalyptic world

# TO UTILIZE



# SHOPPING STREETS

商店街の新たな活用法



# SYSTEM MEASURES

## 01 商店街を色づける

商店街の新たな活用法として、ペイント銃を用いて行うサバイバルゲームイベントを開催する。建物の老朽化した雰囲気やサバイバルゲームで生かすインクや絵の具で建物に色を付けることで、商店街に明るさを生みだしカラフルで印象的なインパクトのある商店街へ生まれ変わらせる。イベントの開催で地域の方や、商店街周辺の方が楽しめるうえ、普段商店街と接点のないサバイバルゲームが好きな若者や他地域の人が訪れるきっかけとなる。また、イベントを行っていない時は、色づいた商店街全体がフォトスポットとなり、日々の集客にも貢献することができる。(夏限定でインクではなく水鉄砲にして涼んでもらうこともできる。)

## 02 寄りあう場所へ

次に定期的に利用したくなるよう商店街をアスレチック化する。壁をクライミングできるようにしたり、屋根に上れるようにしたり商店街 × アスレチックは通常ではありえない非日常的遊びを体験できる。また、サバイバルゲームと並行して行うことで、床だけでなく屋根や壁の高い部分も色づく。これらの企画は、商店街が盛り上がり繁栄していく先駆けとなる。

## 03 新たな交流を生む

1、2で集客からリピートへと考えてきたが次に店舗側と利用者側の交流として大人もできる職場体験を行う。職業体験のなかで、利用者は職業スキルやマネジメントを学ぶきっかけとなる。店舗側は従業員不足の解決へと繋がる。また、店舗側の協力のもと、新たな交流に繋げることで利用者からしてただの商店街だったものが特別な思い出のある商店街と変化する。

## 04 出会いから未来へ

最後に、商店街のなかで出会い地域に新たな未来を生むため相席屋や婚活パーティーなどができる場所を作る。また、職業マッチングや職業体験から後継者を見つけられたり、この地域が地元になり次の世代の繁栄につながる。地域の少子化や人口減少の改善にもなる。

この4つの段階を通し、長い年月のなかで商店街を新たな魅力を付加するという目的を達成し、衰退から繁栄に流れを変えることができる。

近年、過疎化、少子高齢化による人口減少や店舗等の老朽化  
集客力が低いなどの理由が原因で商店街の衰退が目立っている。  
そこで、建物の老朽化を逆手に取り商店街に新たな魅力を  
付加する目的で「新たな商店街の活用法」を提案する。

1

## PURPOSE

対象地は福岡県八女市に位置する土橋市場  
戦後、台湾等から引き上げた人たちが境内に市場を始めたの  
が始まりで、いろんな店が集まる土橋市場へと発展した。  
八女地区では一番の飲み屋街であったが、現在は空き店が増  
え日中に人通りが少なく寂しい飲み屋街となっている。

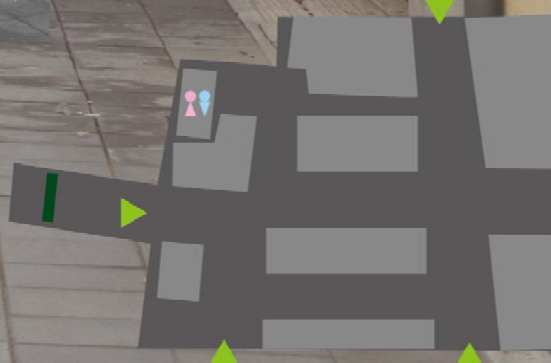
2

## TARGET AREA

## IMPROVEMENT POINT

商店街の改善点として、暗く閉鎖的であり、空き  
店舗の増加などがあげられるが、そういったデメリットを  
うまく使い、文明の崩壊した世界という設定で  
「ポスト・アポカリプス」の世界観を作り出す。なにも使用  
できなかつたり、災害時に一人で生き抜くための最低限の  
力を身に着けるキャンプサバイバルゲームとして展開する。  
店舗に寝床、調理するところ、食料調達等役割を分け、周辺  
の飲食店や雑貨屋利用のレシートを見せることで、寝具など  
がレベルアップする、アイテム調達のような  
サバイバルゲーム感を取り入れる。  
また長期的な計画となる新しい用途を次から提案していく。

3



土橋八幡宮

商店街内地図